

執筆要項

1. 原稿の提出方法

本誌は電子投稿を基本としています。以下の要領に従って電子ファイルを作成し、本誌ホームページの投稿フォーム(新規論文投稿はhttps://jjnhs.com/form_post、再投稿はhttps://jjnhs.com/form_repost)より提出してください。

2. 提出原稿の内容

1) ファイルの構成

本文、図表、図表タイトルを、それぞれ個別のファイルとして用意して下さい。図表は1ファイルにつき1枚とします。ファイル名には、著者の姓と名前の頭文字を付け、次のようにして下さい。

(例) 大分太郎氏の原稿の場合

本文: OTscript

図1: OTfig1

表1: OTtab1

表2: OTtab2

図表タイトル: OTcap

2) 各ファイルの内容

各ファイルは、以下の内容を含むものとします。

本文: 投稿区分、論文タイトル(和文・英文)、要旨(下記参照)、キーワード(下記参照)、ランニングタイトル(下記参照)、論文本文、引用文献、注記

図表: 「3. 原稿執筆上の注意点」の6)に記載

図表タイトル: すべての図表のタイトル

3) 要旨

原著、総説、研究報告、資料については、英文250語以内、和文原稿の場合には、さらに和文400字以内の要旨もつけて下さい。

4) キーワード、ランニングタイトル

すべての原稿に英文キーワードを6語以内でつけて下さい。和文原稿には、日本語キーワードも6語以内でつけて下さい。また、論文の内容を簡潔に表すランニングタイトルを、英文原稿では英語8語以内、和文原稿では日本語15文字以内でつけて下さい。

3. 原稿執筆上の注意点

1) ファイル形式

本文はMicrosoft Wordで作成して下さい。これ以外のソフトウェアを使用した場合は、Text形式で保存して下さい。

図表に関しては以下のファイル形式を受け付けます。

Microsoft Excel, Microsoft PowerPoint,
Microsoft Word, Adobe Photoshop, Adobe
Illustrator, EPS, DCS, TIFF, JPEG, PDF

2) 書体

ひらがな、カタカナ、漢字、句読点と本文(和文)中の括弧は全角で、それ以外(数字、アルファベット、記号)は半角にして下さい。数字にはアラビア数字(123...)を使用して下さい。

全角文字については、太字および斜体は使用しないで下さい。また、本文・図表とも、下記のような全角特殊文字の使用は避けて下さい。

(例) ① VII ix © ★ ※ “ No. m² kg $\frac{1}{2}$ (株) 舗 ☞

3) 句読点

本文中では、「、」と「。」に統一して下さい。句読点以外の「.」「,」「:」「;」などは、すべて半角にして下さい。

4) 章・節番号

章・節につける番号は、1. 2. …、1.1 1.2 …として下さい。ただし、4桁以上の番号の使用は控えて下さい。

(例) 2. 研究方法

2.1 看護職に対する意識調査

2.1.1 調査対象

5) 書式

本文の作成にはA4判用紙を使用し、余白は上下・左右各30.0 mm、1ページあたり37行40文字を目安にして下さい。適宜、改行を用いてもかまいません。本文には、通しのページ番号を入れて下さい。

6) 図表

図や表のファイルには、図表番号およびタイトルを記載してください。その際、図表番号およびタイトルが図の外周の中に入らないよう配置にご注意ください。また、図と、図表番号およびタイトルをグループ化したり、グループ化したものを画像としてファイルに貼り付けたりしないようにしてください。

図表内の文字はTimes New Roman、Arial、MS明朝、MSゴシックのいずれかのフォントを使用してください。その際、「和文:MS明朝、英数字:Times New Roman」か「和文:MSゴシック、英数字:Arial」のどちらかの組み合わせで作図、作表するようお願いいたします。

大きさや数の設定はいたしません。ただし、製版時に縮小されますので、全体が最大A4サイズ1ページにおさまるようフォントサイズにご留意下さい。1ページを超える図表になる場合は、編集事務局にご相談下さい。

7) 引用文献

本文及び図表で引用した文献は、本文の後に日本語・外国語のものを分けずに、筆頭著者名(姓)のアルファベット順に番号をふらないで記載して下さい。ただし、同一筆頭著者の複数の文献は、発行年順にして下さい。著者が3名よりも多い場合は最初の3名のみ記載し、それ以外は「他」「et al」として省略して下さい。雑誌名に公式な略名がある場合は略名を使用して下さい。なお、特殊な報告書、投稿中の原稿、私信などで一般的に入手不可能な資料は文献としての引用を避けて下さい。原則として、引用する文献は既に刊行されているもの、あるいは掲載が確定し印刷中のものに限りです。

正確を期すため、DOIがある場合にはつけて下さい。

(例: 雑誌の場合)

江崎一子, 神宮政男, 古田栄一 他(1996). 早期リウマチ診断における抗ガラクトース欠損IgG抗体測定の臨床的意義. 基礎と臨床 30, 3599-3606.

Yamaguchi S and Yatsushiro R (2019).
Significance and potential of self-management

research for HTLV-1 associated myelopathy: review of self-management for people with multiple sclerosis. *Journal of Rural Medicine*. 14, 7-25. DOI: 10.2185/jrm.2996

Kawamura N, Niiyama M and Niiyama H (2009). Animal-assisted activity: experiences of institutionalized Japanese older adults. *Journal of psychosocial nursing and mental health services*. 47, 41-47. DOI: 10.3928/02793695-20090101-08

Murashima S, Nagata S, Magilvy J et al (2002). Home care nursing in Japan: a challenge for providing good care at home. *Public Health Nurs*. 19, 94-103.

(例: 書籍の場合)

高木廣文(2003). 生活習慣尺度の因子構造と同等性の検討. 柳井晴夫(編), 多変量解析実例ハンドブック, pp95-110. 朝倉書店, 東京.

Emerson AG (1976). *Winners and losers: Battles, retreats, gains, and ruins from the Vietnam War*. Norton, New York.

O'Neil JM and Egan J (1992). Men's and Women's gender role journeys: Metaphor for healing, transition, and transformation. In Kusama T and Kai M (Eds), *Gender issues across the life cycle*, pp107-123. Springer, New York.

(例: 電子ジャーナル等の場合)

太田勝正 (1999). 看護情報学における看護ミニマムデータセットについて. *大分看護科学研究* 1, 6-10. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jonhs/1/1/1_KJ00008418359/_article/-char/ja (最終閲覧日: 2016年2月5日) . DOI: 10.20705/jonhs.1.1_6

Lee SW (2014). Overview of nursing theory. *Jap J Nurs Health Sci* 12, 58-67. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjnhs/12/2/12_KJ00009422959/_article/-char/ja (accessed: 2011-12-24) . DOI: 10.20705/jjnhs.12.2_58

環境省 (n.d.). 大気汚染に係る環境基準. <https://www.env.go.jp/kijun/taiki.html> (最終閲覧日: 2019年2月18日)

※電子ジャーナル等インターネット上のリソースは、掲載されているURL及び最終閲覧日を記載して下さい。また、発表年が不明の場合は、n.d.と記載して下さい。

本文中では、引用文の最後に(前田 2021) または(Maeda 2021) のように記載します。ただし、一つの段落で同じ文献が続いて引用されている場合は不要です。著者が2名の場合は(前田・八代 2021) または(Maeda and Yatsushiro 2021)、3名以上の場合は(前田 他 2021) または(Maeda et al 2021) として下さい。同一著者の複数の文献が同一年にある場合は、(前田 2021a)、(前田 2021b) として区別します。

2つ以上の論文を同一箇所 で引用する場合はカンマで区切り、アルファベット順に並べてください。

(例) 食事 中の塩分や脂肪は、大腸がんのリスクファクターのひとつであると考えられている (Adamson and Robe 1998a, O'Keefe et al 2007)。

図表を引用する場合は、図表のタイトルの後に(前田 2021) のように記載し、引用文献として明示して下さい。ただし、あらかじめ著作者に転載の許可を得て下さい。

(2022年3月22日改定)